



2020年9月17日

各位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピティクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 経営企画室長 山北 真子
TEL 052-218-8785

米国 Glaukos 社との共同研究の対象疾患の追加並びに 新たなライセンス契約締結のお知らせ

当社は、米国 Glaukos Corporation（米国カリフォルニア州、ニューヨーク証券取引所上場、以下、「Glaukos」）との間で締結している共同研究契約に関して、疾患領域を緑内障以外にも拡大することを目的に、対象疾患の追加並びに新たなライセンス契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

Glaukos とは、2018 年に緑内障患者における眼圧降下治療用の新規眼内投与製品の創出を目的とした共同研究契約並びにライセンス契約を締結しております。

今回、進行中の共同研究の進捗が順調に進んでいることから、Glaukos の求めに応じて現在の共同研究の対象疾患である緑内障に加えて新たに角膜障害と網膜疾患を対象として追加することとなりました。この対象疾患の拡大に応じて、現在 Glaukos から受け入れている研究費は増額となります。また、共同研究契約の対象疾患の追加に伴い、既存のライセンス契約に追加された疾患を加えると共に、新たに2件のライセンス契約を締結することとなりました。

当社としましては、これらの成果は、当社の新薬候補化合物を創出する創薬技術が評価された結果だと考えております。

本共同研究契約並びにライセンス契約締結後の Glaukos との契約は以下の通りとなります。

<変更前>

共同研究契約	
対象疾患	緑内障

一定の条件下
でライセンス
契約に移行

ライセンス契約
前房内投与製品
局所投与製品（オプション権）

※研究費の受領あり

<変更後（本共同研究契約並びにライセンス契約締結後）>

共同研究契約			ライセンス契約	
対象疾患	緑内障、 角膜障害	一定の条件下 でライセンス 契約に移行	前房内投与製品	
	網膜疾患		局所投与製品（オプション権）	
			硝子体留置投与製品	
			硝子体注射投与製品（オプション権）	

※研究費の受領あり（金額増加）

なお、本共同研究契約に組み込まれたライセンス契約については、その開発進捗に応じて、契約一時金、開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンフィー、並びに製品の販売後は、販売高に応じたロイヤリティを設定されております。

角膜障害には、フックス角膜内皮変性症^{（注1）}やドライアイ等があります。市場規模に関しては、世界のドライアイ市場規模は約40億ドルと言われており、フックス角膜内皮変性症は日本での患者数は数千人～数万人であり希少疾患とされていますが、米国においては40歳超の国民の4%程度が罹患しているという報告もあります。フックス角膜内皮変性症は、現時点では角膜移植が唯一有効な治療法であり、有効な医薬品が強く求められている領域であることから、非常に大きい市場が生み出される可能性があります。また、網膜疾患には、滲出型加齢黄斑変性^{（注2）}や糖尿病網膜症^{（注3）}等があり、米国の約2,800万人が網膜疾患に罹患していると言われています。

当社はGlaukosと共同で研究開発に取り組むことで、患者様のQOL（Quality of Life）の向上につながる新たな治療法の創出に努めてまいります。

当社代表取締役社長の日高有一は、次のとおりコメントしています。「緑内障のみならず角膜や網膜をも対象にする適切に設計されたマイクロスケールの治療用デバイスの幅広い独自のポートフォリオを構築するための優れた基盤技術を持つ眼科領域のトップリーダーとしてよく知られているGlaukosとの研究開発提携を拡大することができ嬉しく思います。この拡大は両者の卓越した基盤技術のシナジーの証拠だと信じています。協業を通じて複数の革新的な眼科用製品が生み出されることを期待しています。」

Glaukosの社長兼CEOのトーマス・バーズは、次のとおりコメントしています。「我々はデ・ウエスタン・セラピテクス研究所との研究提携が拡大されることを喜ばしく思います。これは革新的な創薬がうまく進んだという証明となる実績であり、独自のROCK阻害化合物での傑出した研究の仕組みとして業界でも高く評価されています。緑内障での両者の協業によりなされた進歩をより推し進めることに加えて、角膜障害や網膜疾患の治療に使われることになるであろう有望な新しい化合物を探索していくことになるこの拡大された共同研究の最初の段階が始まることにわくわくしています。」

本共同研究では、当社の基盤技術の1つである Rho キナーゼ阻害剤^(注4)の独自化合物ライブラリー^(注5)から化合物を提供し、もしくは当社で新たに化合物の創製を行い、Glaukos がそれらの化合物の評価及び開発を実施いたします。本共同研究期間は、2021年9月までとなっておりますが、進捗状況に応じて研究期間を延長する場合があります。

なお、本件による2020年12月期の業績予想の変更はありませんが、中長期的な業績向上に資するものと考えております。

Glaukos Corporation について

(1)名称	Glaukos Corporation
(2)代表者	CEO : Thomas W. Burns
(3)所在地	229 Avenida Fabricante, San Clemente, CA 92672 United States
(4)設立年月	1998年7月
(5)純資産	673,272千ドル(2019年12月期)
(6)事業内容	緑内障、角膜障害、網膜疾患のための革新的治療法の開発・商業化
(7)URL	https://www.glaukos.com

以上

用語解説

(注1) フックス角膜内皮変性症

角膜内皮細胞に障害がおき、角膜浮腫・混濁が生じ、視力が低下していく疾患です。

(注2) 滲出型加齢黄斑変性

加齢に伴い眼の網膜にある黄斑部に障害が起こり、視力の低下や失明を引き起こす病気で、滲出型(wet)と萎縮型(dry)の2種類があります。滲出型は脈絡膜から異常な新生血管が生じ、その血管により出血や浮腫などが出現することで、物がゆがんで見える等の視力障害を引き起こします。

(注3) 糖尿病網膜症

糖尿病が原因で網膜が傷害され、視力が低下し、失明を引き起こす病気です。糖尿病網膜症は、糖尿病神経症・糖尿病腎症と共に糖尿病の三大合併症の1つといわれております。

(注4) 阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

(注5)化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。